

配車サービス「ゴジェック」について

北陸銀行 国際部
 バンクネガラインドネシア駐在
 高森 泰大

1. はじめに

2017年4～6月期のアジアのベンチャー企業への投資額は193億ドル(約2兆1800億円)と米国(184億ドル)を初めて上回りました。中国配車アプリ大手の滴滴出行(ディディチューシン)を筆頭に、インドやインドネシアなどの新興企業への大型投資が相次いだことが要因です。アジア企業の成長を期待する投資マネーの流入が勢いを増しています。

インドネシアにおける有力投資先としては、二輪配車サービス大手のゴジェックが挙げられます。先日、中国のインターネットサービス大手の騰訊控股(テンセント)と京東集団から多額の出資を受けることも明らかにしました。

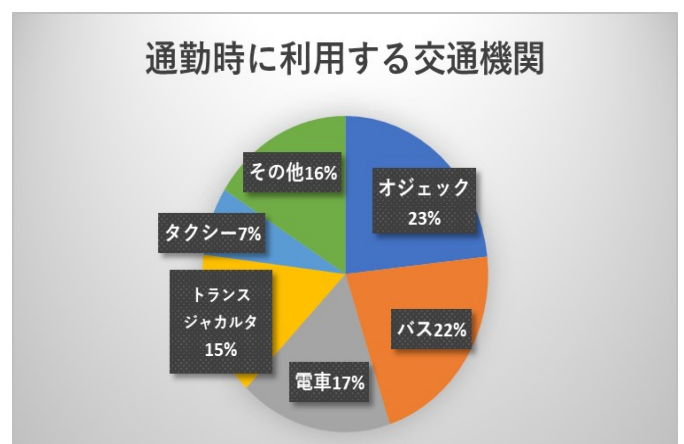
魅力的な投資先として脚光を浴び、急激な成長を遂げているゴジェックは、すでにインドネシア庶民にはなくてはならないサービスの一つとなっています。今後ますます進化してインドネシアビジネスに大きな影響を与えていくであろうゴジェックについて今回は紹介したいと思います。

2. ゴジェックが普及した背景

ゴジェックとは、2015年より配信されたオンラインアプリで、バイクタクシー(インドネシアではバイクタクシーのことをオジェックと呼びます)を呼べるサービスのことで、

ジャカルタでは、バスやタクシーなどの公共交通機関が存在するものの、慢性的な渋滞のため、小回りの効くバイクの需要が非常に高く、庶民の移動手段として日常的に利用されています。

クダイ・コピ(世論調査・討論グループ)がジャカルタ特別州で行った2016年9月の調査によると、通勤時に利用する交通機関はオジェックがトップになっており、ジャカルタでの交通手段として確立している様子が窺えます。



かつては、個人営業のオジェックが主流でしたが、利用客はそのドライバーが待機している場所に自らの足で向かわなくてはならず、また金額交渉もその場でしなくてはならないという不便さがありました。

それら課題を解消したサービスがゴジェックです。ゴジェックはアプリ上で乗車場所と降車場所を指定すると、かかる費用を表示し、その後近くの対応可能な登録ドライバーが見つければ、そのドライバーの連絡先や写真、乗車場所まで何分で着くかまで表示してくれます。とても利便性の高いサービスになっています。

近年のスマートフォンの普及によりこのアプリは急拡大しています。誰でも簡単にアプリをダウンロードすることが可能であることから、2017年現在でダウンロード数は3,400万件を超えています。公共交通機関が発達しておらず、渋滞もひどいインドネシアでは、同サービスの需要は今後も続くという見方が優勢です。



【街中を走るゴジェック：本人撮影】

3. ゴジェックのサービス内容について

ゴジェックは、自社で車両を保有しておらず、あくまでも配車手続きのみを行っているという点でタクシーとは性格が異なります。運転手は、配車アプリの社員ではなく、登録をしている個人運転手であり、個人運転手が自己の所有車、またはバイクを運転して顧客の送迎サービス等を行う、白タクのようなものです。

ゴジェックの主なサービス内容は、以下の通りです。実際のゴジェックのアプリのメイン画面についてもご覧ください。今や、配車サービスだけを行うのではなく、宅配サービス、買い物代行のサービス等、数種類の機能をまとめたプラットフォームへと進化しており、より身近な存在になっています。

【主なサービス内容】
①二輪・四輪配車サービス
②荷物の宅配サービス
③食事のデリバリーサービス
④買い物代行サービス
⑤チケット注文・宅配サービス
⑥トラック貸出サービス
⑦掃除サービス
⑧ヘアケア・マッサージサービス



【ゴジェックのスクリーンショット】

4. おわりに

今回ゴジェックについて紹介させていただきましたが、インドネシアでは同業種のGrab（本社＝シンガポール）、やウーバー（本社＝アメリカ）など外資企業も進出しています。今や配車サービスに留まらず、電子決済サービス等付加価値をつけて拡大する市場を取り込もうと競争が激化しています。

ゴジェックは、2016年にスマホ決済「ゴーペイ」を始め、ゴーペイで支払うと前項サービスが割引となる設定をしてみたり、35,000件の飲食店と提携、また数千人のマッサージ師・清掃業者と契約する等、他社と差別化を図っており、現在インドネシア国内では優位な状況にいます。

規制が厳しいインドネシアではありますが、庶民に根付いているスマートフォンを利用したアプリや電子決済サービス市場は支持されている印象があり、急激に拡大しています。若者の人口や中間所得者層の増加を考慮すると、この市場はまだまだ伸びていくことも推測されます。

今後も世界各国から投資資金がインドネシアの潜在的に魅力のある分野に流入し、同国の経済を大きく変革させていくことと思います。その中の一つがこの配車サービスアプリや電子決済サービス市場であり、ゴジェックであると思います。更なる利便性が追求されていく、まだまだ発展途上の分野でしょうから、その中に面白いビジネスのタネも潜んでいるはずで、今後もこれらの動向には注目していきたいです。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
（株）人材情報センター内
TEL：(076)254-6500 FAX：(076)254-6565
E-mail：info@chojo-hokugin.jp